

## 微生物標本館への2009年度分の標本追加

Additional Specimens to Microorganism Museum in 2009.

小板橋基夫\*, 吉田重信\*, 對馬誠也\*\*

Motoo Koitabashi, Shigenobu Yoshida, Seiya Tsushima

### 1. 微生物標本館とは

農業環境技術研究所、農業環境インベントリーセンターに所属する微生物標本館には、多くの研究者から寄託された微生物タイプ標本に NIAES 番号を付けて保管されている。さらに、1880年代から現在に至るまで約120年間にわたり寄贈・採集された微生物乾燥標本、微生物乾燥さく葉標本等約7000点を、標本室内で安定的に保管している。また、農林水産省微生物ジーンバンク事業の一環として、細菌および糸状菌の凍結乾燥アンプル、凍結チューブ、継代培養試験管など合わせて約4000点を低温室において保存している。その収集は現在も続いており、2009年度に新たに収蔵した標本について紹介する。

### 2. 標本館情報への標本追加

2009年度には、北海道のアイヌ遺跡から発見された雪腐黒色小粒菌核病菌の菌核の標本11点や、新種記載された *Ceratocystis ficicola* によるイチジクかいよう病の罹病組織および *Fusarium azukicola* の菌体標本など14点を NIAES 番号を割り振り、タイプ標本コレクションに追加した(図1および2、表1)。

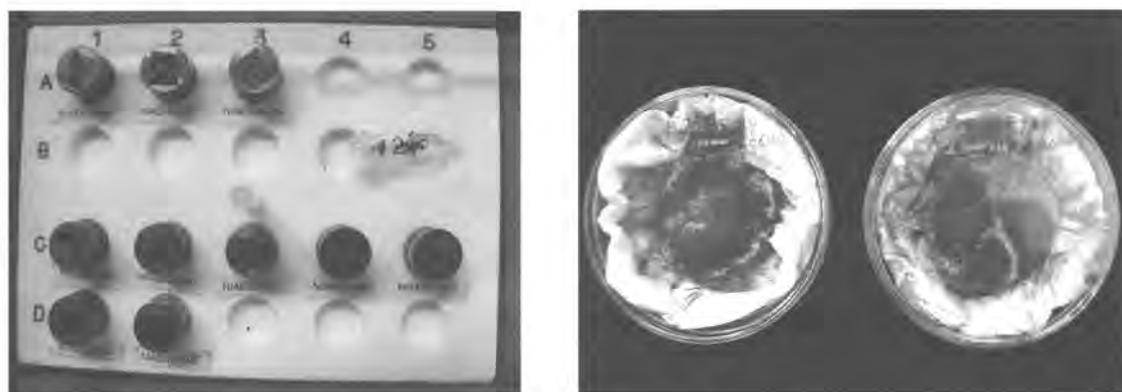


図1. 2009年度に寄託されたタイプ標本や証拠標本の保存状況 (その1)

(左: *Typhula ishikariensis* の菌核 右: イチジクかいよう病の罹病組織)

\*生物生態機能研究領域, \*\*農業環境インベントリーセンター

\*Environmental Biofunction Division, \*\*Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第9号, p57-59 (2011)



図 2. 2009 年度に寄託されたタイプ標本や証拠標本の保存状況 (その 2)  
 (左: *Fusarium azukicola* のラベル表示 右: *F. azukicola* の菌体標本)

表 1. 2009 年度に追加された NIAES 標本の詳細情報

NIAES 番号	病原菌学名	採集地	宿主	採集年	寄託者	標本種類
NIAES20585	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道千歳市長都	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20586	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道千歳市長都	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20587	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20588	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20589	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20590	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20591	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道千歳市長都	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20592	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20593	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20594	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20595	<i>Typhula ishikariensis</i>	北海道沙流郡平取	不明	2009*	松本直幸	証拠標本
NIAES20600	<i>Ceratocystis ficiicola</i>	福岡県	イチジク	1990	升屋勇人	ホロタイプ
NIAES20601	<i>Ceratocystis ficiicola</i>	福岡県	イチジク	1991	升屋勇人	パラタイプ
NIAES20605	<i>Fusarium azukicola</i>	北海道十勝郡浦幌町	アズキ	1996	青木孝之	アイソタイプ

\* *Typhula ishikariensis* については寄託年

これまでに微生物標本館に所蔵されているの微生物標本情報を DB 化し、Web 公開中の微生物インベントリー「microForce」にデータ追加等を行ってきたが、今回寄託された標本のデータ 14 点を DB に追加した。

### 3. ジーンバンク登録菌株の標本化

農業環境インベントリーセンターでは、農林水産省のジーンバンク事業のサブバンクとして微生物遺伝資源の探索収集、評価、保存、配布等の活動を行っている。それら MAFF 菌株の中から MAFFIN306763~306793 までの 31 菌株の植物病原菌の培養菌体の乾燥標本を作成した。この中には、大分県豊後高田市で採集されたコムギ赤かび病の病原体である *Fusarium graminearum* や青森県横浜町で採集されたコムギ赤かび病の病原体（種複合体）である *Microdochium nivale* などの標本が含まれている。各菌株の詳細は以下に示す農業生物資源研究所ジーンバンク事業のデータベースの微生物遺伝資源部門に登録され、以下のサイトから検索を行える。

URL <http://www.gene.affrc.go.jp>

**参考文献**

1) Naoyuki Matsumoto, Tamotsu Hoshino, Goro Yamada, Akira Kawakami and Yuko Takada-Hoshino (2010) : Sclerotia of *Typhula ishikariensis* biotype B (Typhlaceae) from archaeological sites (4000 to 400 bp) in Hokkaido, northern Japan. *American Journal of Botany* 97(3): 433–437.

**問い合わせ先**

生物生態機能研究領域 小坂橋基夫  
電話：029-838-8355, E-mail：koita@affrc.go.jp